

2018年11月2日

オリンパス イスラエル医療機器会社「Medi-Tate」に出資 泌尿器ビジネス領域における製品競争力を強化

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、本日、イスラエルの Medi-Tate 社への出資について最終合意しました。これには、同社製品を販売する権利と、同社株式を 100%取得できる権利(コールオプション※1)が含まれます。Medi-Tate 社は、良性前立腺肥大症 低侵襲治療デバイス(以下、BPH MIT デバイス)の研究開発、製造を行う医療機器メーカーです。同社の製品「iTind」は CE 認証を受け、欧州地域で販売しています。今後は各国の法規制・許認可等の対応を行い、順次導入する予定です。オリンパスは Medi-Tate 社の技術を活用して、BPH MIT デバイスのポートフォリオを拡大し、泌尿器科の事業を強化していきます。

※1 あらかじめ決めた一定の条件を達成した場合に株式を取得できる権利

●背景

「前立腺肥大症および膀胱腫瘍治療装置市場における当社の地位を強化する」ことは、2016 年経営基本計画(16CSP)において泌尿器事業の重要施策のひとつです。前立腺肥大症は高齢者の約 40%に発生する病気であり、今後も高齢化に伴い増加すると予想されます。一般的な治療方法は投薬治療と外科的治療で、オリンパスは BPH MIT 治療のひとつである経尿道的前立腺切除術(TURP)に用いるデバイス(レゼクトスコープ、切除用電極など)を開発、製造、販売しています。一方で近年は、入院を要する BPH MIT 治療だけではなく、診療所やクリニックでの日帰り治療を可能にするデバイスが現れ、選択肢が多様化しています。そこで今回、BPH MIT デバイスの研究開発、製造を行う医療機器会社である Medi-Tate 社(イスラエル)に出資することを決定しました。これによりオリンパスは、Medi-Tate 社の技術を活用し、BPH MIT デバイスのポートフォリオを拡大し、既存事業と将来事業とのシナジー効果を狙っていきます。

●Medi-Tate 社を選定した理由

診療所やクリニックでの治療を可能にする新 BPH MIT デバイスと、当社の TURP 用デバイスにより、泌尿器事業における地位が強化できると判断しました。

●Medi-Tate 社 概要

設立	2007年2月
CEO	Ido Kilemnik
事業内容	下部尿路症状(LUTS)治療のための革新的なソリューションの研究開発、製造
本社所在国	イスラエル、Or Akiva
URL	http://www.medi-tate.com/

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。